

書名	松原の教育 平成4年度版
書名かな	まつばらのきょういく へいせい4ねんどばん
編著者名	管理部総務課(編)、社会教育部社会教育課社会教育係
編集機関	松原市教育委員会
発行機関	松原市教育委員会
発行年月日	1993年1月
郵便番号	580-8501
電話番号	072-334-1550
住所	大阪府松原市阿保 1-1-1
備考	文化財に関する頁及び奥付のみを電子化。

PDFファイル制作日：2021年11月16日

PDFファイル制作者：松原市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課

4. 文化財保護

(1) 文化財保護の目的

文化財は過去を正しく理解し、現在を見つめて、未来を創造する手掛りであり、また充足と豊かさをもたせた真に文化的な生活を営む糧である。

この本市の発展にとってかけがえのない文化財を保護・保存し、永く後世に伝えると共に、市民生活の向上を図ることを目的とする。



(2) 埋蔵文化財

開発行為等によって破壊に直面している埋蔵文化財の保護を重点施策として取り組んでいる。

① 開発事業の調整、指導

「文化財保護法」に基づく土木工事等の届出、「開発指導要綱」に基づく試掘依頼等によって、埋蔵文化財の存在状況の把握と新たな遺跡の発見に努め、その保存方法、発掘調査等の事前協議を行う。

- ・ 建築確認、道路工事申請に伴う遺跡確認受付

種別 \ 年度	昭61	62	63	平元	2	3
建築確認	430	445	501	494	466	413
道路申請	743	707	749	655	598	491
計	1,173	1,152	1,250	1,149	1,064	904

- ・ 発掘届出・通知（遺跡範囲内）

指導別 \ 年度	昭61	62	63	平元	2	3
慎重工事	308	273	355	341	333	269
立会調査	34	25	32	65	105	100
発掘調査	145	141	143	104	54	28
計	487	439	530	510	492	397

・ 試掘調査依頼（遺跡範囲外）

年 度	昭 61	62	63	平 元	2	3
件 数	66	78	61	61	65	61

② 調 査

内容		年度					
		昭 61	62	63	平 元	2	3
立 会 調 査		41	34	51	67	92	98
試 掘 調 査		59	75	65	53	54	52
発掘調査	予備調査	114	119	128	90	60	57
	本 調 査	10	20	11	9	8	12
計		224	248	255	219	214	219

③ 普及、啓発、広報

（現地説明会）

- 大塚運動広場施設整備工事に伴う立部3

丁目所在遺跡（立部古墳群）発掘調査

開催日）平成2年11月24日

参加人員） 111名

- 新庁舎建設に伴う上田町遺跡発掘調査

開催日）平成3年4月27日

参加人員） 239名

- 上田町遺跡発掘調査市内小学生見学会

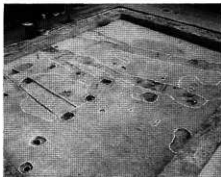
開催日）平成3年4月30日

参加児童数） 1,044名

(3) 発掘調査概要

① 上田町遺跡〔上田2丁目402-2〕

近鉄河内松原駅の北側において、個人住宅建設に伴って調査が実施され、奈良から平安時代に至る掘立柱建物一棟、溝、土坑、埋め変等が確認されている。特に建物の柱跡からは、地鎮祭に用いられた滑石製白玉が50点近く出土している事に注目された。



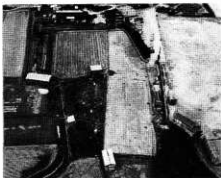
② 河合遺跡〔河合3丁目地内〕

市の南西に所在する古池の公園造成に伴って調査を実施した。特に奈良時代の遺構には、豪族の館及び役所等の施設と思われる大規模な建物群、幅5mを測る大溝、祭祀用の品々が多数出土した井戸等が確認された。更に、建物の柱跡からは調査当時最古級に属すると話題になった、秤の錘が出土している。



③ 立郎古墳群〔立郎3丁目地内〕

倭の五王の一人「武」と言われる雄略天皇陵として定説のある、大塚山古墳の南西に位置する。今回、大塚運動場の拡幅工事に伴って古墳7基、飛鳥から平安時代に至る各時代の墓、鎌倉時代の建物等が確認された。特に古墳からは市として初の出土例となる、甲冑型等の埴輪類が多数出土している。



④ 丹比大溝〔上田3・5丁目地内〕

河内松原駅前再開発事業に伴う調査により、総延長約4km以上にも渡る古代の大型人工水路の存在が確認された。調査の結果、幅10m、深さ3mの規模を測ることが明らかとなった。また飛鳥から現代に至る多数の遺物の出土は、千数百年に渡って連続と水路が利用されて来たことを物語っている。



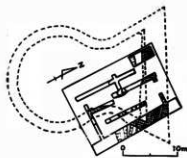
⑤ 上田町遺跡〔阿保1-1-1〕

市役所敷地内において、新庁舎の建設計画に伴い発掘調査を実施した。調査の結果、弥生時代の水田跡や古墳時代前期の集落跡、またこの両時期にわたる河川跡などが検出された。弥生時代の水田跡からは府下でも珍しい稲株の跡が多数検出されたほか、河川跡には水利に利用されたと思われる井堰の跡なども認められた。またその河川跡からは弥生時代後期から古墳時代前期にわたる壺や甕、高杯といった土器が多数出土しているほか、市内では出土例のなかった木製の農耕具などが出土している。古墳時代前期の集落跡からは、竪穴住居跡や当時の井戸跡などが検出され、井戸跡の中からは、土師器の壺や高杯などととも、木製の籬籠なども出土している。



⑥ 川ノ上古墳〔一律屋町380-5〕

調査地は、東除川の左岸の段丘を上がった所で、一律屋古墳の痕跡をとどめる敷島神社の北方に位置する。調査は、共同住宅の建設に伴い実施し、古墳の周濠と思われる溝状遺構を検出した。検出した周濠は、幅約4m、深さ約1.6mのもので、その平面の形状や検出位置などから考えて、前方後円墳の前方部の前縁から角部分であると思われる。墳丘などの上部施設は、現況においては既に失われており、その痕跡すら残っていなかったが、検出された周濠の規模から、全長約30m程度の古墳であったと推測される。遺物は、周濠から円筒埴輪や馬形埴輪、蓋形埴輪、須恵器杯など古墳に伴うものが多数出土したほか、古墳よりも後世のものである奈良時代から平安時代にかけての土師器や須恵器、黒色土器、瓦などといったものも出土している。





上田町遺跡発掘風景



立郎古墳群現地説明会



丹比大溝発掘風景



○市歌

(昭和30年9月27日)
設 定

M.M. ♩ = 108
あか-ら(松原市)

上嶋久恵 作詞
嘉志邦三 補作
樋口昌道 作曲

な に わ の み な み に し え の
は じ め の あ か ど の く ら い せ し れ
き し か が や く ま つ ぼ ろ し わ
れ ら の き よ ー と あ あ ー う ら わ し や

- 一、浪花の南いにしえの
反正のみかどの位せし
歴史かがやく松原市
われらの郷土ああ美わしや
- 二、産業日々にすすみゆき
仰ぐ金剛信貴生駒
黎明つぐる松原市
われらの郷土ああ光あれ
- 三、平和の松の旗しるし
高き文化の色そめて
朝日に映ゆる松原市
われらの郷土ああ栄あれ

松原の教育

(平成4年度版)

発行日	平成5年1月
発行所	松原市教育委員会
編集	管理部 総務課 ☎(0723) 34-1550(代) FAX(0723) 32-7720
印刷	ハンカイ出版印刷株式会社 ☎(0722) 54-5555(代) FAX(0722) 54-2858